

# 街look田原

街あるつく田原

平成29年12月15日金 第40号



## 三河田原駅前が 生まれ変わります！

●まちなかの賑わいを再び！  
田原市の歴史を振り返る

文明12年(1480年)頃、戸田宗光が田原城を築城したことから現在の中部校区を中心とした城下町が作られます。この頃から本町通りに商業者が少しずつ着き始め、二七の市の元となる六斎市が始まるなど現在田原市の基盤として発展しました。

寛文4年(1664年)に三宅家が田原藩1万2千石の領主となります。この頃の新田開発により、汐川兩岸が開拓され、現在の中心市街地の形状が作られました。文化7年(1810年)には文武に渡る人材教養を目的として現在の田原中部小学校の地に田原藩藩校「成章館」が開校。明治・大正時代にかけて、豊橋への交通網ができ、戦後を経て経済が発展、上町・萱町の国道沿い・旭町通り・新町・本町を中心に渥美半島の商業の中核として栄えていました。さらに、豊川用水通水による農業の発展と臨海分の造成や企業誘致・操業などにより人口は増加、大規模団地開発・区画

整理などで市街地は拡大。その反面、昭和40年代からのモータリゼーションの進展で市外への消費流失が始まり、車社会の影響で城下町の特性から中心市街地の「昔の賑わい」と「人口」は次第に減少に転じました。これに対応するため、田原市は昭和40年に田原駅前通り線の都市計画を決定させ、田原市中心市街地活性化をスタートさせました。

## ●賑わいある街 渥美半島の玄関口へ

田原駅前通り線の都市計画の根幹は「三河田原駅を中心とした市街地へのアクセスを高めること」。臨海部工業地帯から中心市街地及び三河田原駅を経て渥美半島の主線国道259号線を結ぶ田原中心市街地の発展に必要な不可欠な道と位置づけられ、全長4.07kmある田原駅前通り線の中心市街地部分の約570m、北から「旭町はなとき通り(街路事業)」、「セントファール(田原中央地区第一種市街地再開発事業)」、「三河田原駅周辺(街路事業)」の3つが核とされ、現在まで続いています。

そして、いよいよ来年5月末開業を目指す三河田原駅前の工事が始まりました。



# 光で結ぶイルミネーションで冬のまちなかを演出! ～「まちなか賑わいエリア」をロマンティックに彩ります～



▲11/4の点灯式には、多くのお客様と一緒にステージイベントで盛り上がりました



## 中央広場「田原萱町交差点」

1月  
5日  
まで

広場真ん中のツリーは、田原の街のイルミネーションのシンボルです。約8mあり、年々輝く電球の数は増えています。夜の散策も、まずはここからスタート。

### ◆今年も田原のまちなかを にぎやかにライトアップ

今年も田原の冬を象徴するイルミネーションが始まりました。11月4日に中央広場で点灯式が行われ、ステージイベントと共に光が灯りました。「はなとき通り商店街」として新しく変わった平成7年に、パリのシャンゼリゼ通りのような光のある明るい商店街にと、通りの整備と共にイルミネーションを始めて今年で22年を数えます。始めた当初は、商店街で声を

かけあい、はなとき通りの約110mに渡るイルミネーションだけでしたが、イルミネーションブームやLEDの登場で新しい風が吹きました。このブームをきっかけに、もっと広がりを持たせたらと、中央広場付近の銀行やセントファールにも「一緒にやりませんか」と声をかけ、少しずつ、はなとき通りから萱町交差点までイルミネーションが繋がっていきました。現在では、はなとき通り交差点から三河田原駅前西の信号まで街歩きしながらイルミネーションを楽しめるようになりました。また、市と共に盛り上げようと、整備された三河田原駅全体、そして萱町交差点から東西の通りにも少しずつ流れが波及しています。近年では、中・高校生のボランティアの力添えもあり、点灯式イベントが合わせて開かれるなど、冬の風物詩として定着しました。今年も流行など取り入れ、工夫を凝らしています。今後も新しくできる親子交流広場へもイルミネーションを繋げていき、皆が心を入れた温かな光が次世代へ繋がっていくよう希望しつつ、街なかのイルミネーションは続けられています。



### センターコート「セントファアレ施設内」

12月25日月まで

#### ◆クリスマスまでの期間限定

セントファアレの吹抜けの中心に置かれたツリーは約9m。クレーンが入ることができず、足場を組んで作業が行われます。空間全体に立体的に飾りつけもされ、下から見上げるのもきれいですが、2階に上がり、上から見えるツリーの景色もおススメです。11月4日「点灯式」のイベントでも、アカペラコンサートの会場になりました。

#### 今回、お話を伺った人



#### ● 横山 丈二さん(富貴屋)

田原町築出のはなとき通りに和洋菓子の富貴屋を構える。イルミネーション事業・キャンドルナイト事業、サンタが街にやってくる事業などに協力。

#### ◆イルミネーションがお出迎え

三河田原駅周辺は全体がホワイトイルミネーションの一つのデザインにまとめ上げられ、田原の玄関口を彩ります。三河田原駅を利用する方に心温まる演出を楽しんでもらおうと考えています。



### 田原駅前広場「三河田原駅周辺」

2月14日水まで

## 「エセの市」開催

場所：田原文化会館 第1駐車場

#### 今年最後の「ニセの市」に出かけよう！

開催／2・7のつく日及び12月30日(土) AM6:00～



※上記の写真は平成28年11月に撮影したものです。

今年の8月から出店場所が田原文化会館第1駐車場に変更になった「ニセの市」。12月30日(土)は正月準備の為、臨時開催されます。是非、お出かけください。商品がなくなり次第、閉店する店舗もありますのでお早めにご来場ください。

新年は1月7日から開催します。



# 学生時代に通ったお店の「看板娘」。 これからも愛され続けるお店に…

スミレ軒 <sup>こうべ</sup> 河辺 <sup>れいこ</sup> 玲子さん



## ■スミレ軒に嫁いで

スミレ軒の看板お嫁さんの河辺玲子さんは、現在の田原市野田町で生まれ育ちました。高校生の頃には、バスを降りるとスミレ軒に寄って、サンドイッチやパンを買って通学していたところへ嫁ぐとは、夢にも思ってい



なかつたそうです。平成三年にスミレ軒三代目のご主人と結婚して、三人のお嬢さんの子育てをしながら、お店を手伝ってきまし

た。スミレ軒はご主人の祖父が昭和五年にお菓子屋として創業されたのが始まりで、今年で87年になります。現在はご主人とご主人のお母様、玲子さんの三人でお店を営んでいます。

## ■名物サンドイッチ

スミレ軒で提供している主な商品は手作りの和菓子、お赤飯、



住 田原市田原町清谷41  
電 0531-22-0370  
営 7:00~18:30  
休 毎週月曜日  
P 4~5台



お餅などです。もちろん、どれも美味しいと評判ですが、ご主人のお母様が毎日作られているサンドイッチは好評です。50年前から手作りを続けている『おばあちゃんのサンドイッチ』ですが、



「今は、トマトサンドやフルーツサンドが特に人気。是非一度ランチやおやつに食べてみてください。」と河辺さん。

## ■心がけてるんですよ

安心で、美味しいものを手作りで提供することを心がけているそうです。そして地域に密着した行事、お祭り、お彼岸、お正月等お祝いごとや、引き物を提供すること

で、お客様に喜んで頂



けることが、とても嬉しいと仰っていました。

## ■まちづくりに積極的にも

まちなか賑わいづくり実行委員会が主催する、こいのぼりイベントや七夕イベント、四つ葉プロジェクト事業にも積極的に参加され、まちなかの賑わいづくりに貢献されています。たまぽカードの加盟店にもなっていて、「小さなお店ではありますが、お客様に楽しみのあるサービスも提供したい。」と仰っていました。「中心市街地で賑わいを創るためにも、美味しいお菓子を提供して、お客様に愛されるお店をいつまでもやっていきます。」と力強く語って頂きました。



次回も田原のまちなかの身近なお店の素顔を紹介します。

次号は平成30年1月15日予定

お楽しみに〜